ドイツ連邦食料・農業省　農林漁業最新情報
Bundesministerium für Ernährung und Landwirtschaft
NO 15
2022・10・24

1 ドイツ連邦閣議：家畜由来の食品への家畜飼育方法の表示を義務化
ー豚からスタート・5 段階の豚飼育方法を表示ー　（2022・10・12）

将来に向けた家畜飼育の重要な歩みー

連邦閣議は、今日（10 月 12 日）に連邦食料農業省エズデミール大臣から提出された、家畜から得られた食品について、飼育形態の表示を義務化する法案を審議し、決定した。

消費者はこの家畜がどのように飼育されていたのかを、はっきりと知ることができる。

この情報は、消費者が食品購入の決定に際して参考にされる。連邦政府は、この家畜飼育方法表示法でもって、さらに重要な案件を決定した。これはドイツにおいて将来を見据えた家畜飼育への転換を促進する。

連邦大臣エズデミール：”今日は消費者とドイツの農業のために、良い日である。長年これについて論争し、そして繰り返しその経過を公表してきた。

我々は今、公式に家畜飼育法の表示を義務化した。これまで自由意思に基づく飼育表示は、間もなく終了する。そしてそれに代わってより多くの家畜福祉のために、義務化された標示が肉屋のカウンター、冷蔵陳列ケースまたはオンライン―取引きで登場する。

消費者が肉を買ったときに、その家畜がどのように飼育されてきたかを、自分の眼でもって知ることが出来る。同時に種に適した家畜飼育のために、農業者の貢献を、この表示でもって見ることができる。農業者の投資と変革への備えは、我々にも価値あるものである。

この義務化された表示は、将来を見据えた家畜飼育への転換を促進させるために、最初の重要な歩みである。このことは緊急に必要である。ドイツの家畜飼育は、既に長く危機の中にある。数年来、多くのことが語られてきた。しかし、何も起こらなかった。連邦食料・農業省は、不確実性と不安定に、長い間取り残されてきた。農業経営は、成長かまたは退却しなければならなかった。
多くの農業者は経営を断念するか、またはその手前に立っている。これを私は受け入れたくない！農業経営を中止するとき、農村地域にとっても損害を受けている。

私は、将来的に良い肉を食卓に載せたい。将来を見据えた家畜飼育は、家畜保護と気候保護に適応し、消費者の購入に際して透明性を提供し、そして家畜飼育農場は、信頼できる視点でもって提供する。その際、少ない家畜をより良く飼育することが重要である。我々は持続可能な農業の部分として、より少ない家畜をより良く飼育する。そのような飼育のみ、我々の生存基盤を守れる。
そして自然的な循環を指向する。なぜならば、野菜もまた家畜飼育と肥料を必要とする。外国から肉がきたときであっても、我々に全く影響がない。

公式に義務化された家畜飼育方法の表示に関する閣議決定でもって、今、連邦議会手続きへの道が開かれた。そして国民が十分にこのことを、活用できるようにしたい。私はこの分野について、議会の同僚、特に連立政権議員団にも、これまでの共同活動に感謝したい。私はここで圧力のもとに晒されている農業者のためにも、この仕組みの進展を望んでいる。私の省は、今、同様に議会決定を得ることに努力している。家畜飼育表示について、家畜に適した畜舎改造のためのさらなる奨励構想とともに、建築一認可法または家畜保護法における、より良い規定についてもさらなる礎石を築く。

さらなる情報：
家畜飼育表示法は、家畜の飼育形態を伴った家畜の由来（血統）の食品表示の義務化を決定した。さらに様々なレベルでの市場参入者に生じている義務化との関連でもって、規定されている。つまり、農業者または販売する人である。
表示は未加工の豚肉からスタートし、5 つの飼育形態が表示される。さらに加工形態、販売方法と家畜の種が続く。

将来を見据えた家畜飼育の全体計画は、義務付けられた家畜表示と並んで、3つのさらなる中心的な構成要素を含んでいる。また、建築一認可法への適応、家畜に適した畜舎の改造のための奨励構想、そして家畜保護法における適切な規制が構成要素になっている。

家畜の飼育形態別の表示

家畜の飼育形態
①有機養豚(放し飼い)
②運動場付き（/露地）
③大気の入る畜舎
④畜舎＋運動の場
⑤従来の畜舎
黒の表がこの肉に該当

①有機養豚（放し飼い）

②運動場付き（露地）

③大気の入る豚舎 片側開放

④畜舎ー運動の場 +20%の広さ

⑤従来からの豚舎

２エズデミール大臣：豚の飼育方法表示義務化の内容についての説明

ー将来を見据えた家畜飼育方法への転換をー　　（2022・10・14）

将来を見据えた家畜飼育の道への礎石：消費者は、ドイツの農業経営で家畜がどのように飼育されていたかを、一目で知ることができる。連邦食料・農業省は、家畜に由来する食料のために、義務化されたそして透明性を伴った家畜飼育形態について作業している。さらに家畜飼育法表示のための法案において、他の EU ー加盟国と第三国からの食料もまた、任意をベースとした標示が可能になる。

エズデミール・家畜飼育法の表示義務化を説明

エズデミール大臣は、6 月の記者会見で計画している家畜飼育法表示のキーポイントを紹介した。法草案は、10 月初めに連邦閣議を通過した。これは法的な改正を、今年中に実施するさらなる歩みである。家畜飼育法表示でもって、家畜の飼育された方法を、消費者は食料表示で知ることができる。最初の第一歩は、豚の未加工の肉が表示される。さらに他の家畜の種と産物が、この後続く。

家畜飼育法表示の基本

ー 消費者は食料となる家畜がどのように飼育されてきたのか、より多くの情報を望んでいる。

ー そのため、家畜飼育法表示には、法的な義務化を含んでいる。それは家畜に由来する特定の食料に関して、消費者に対する飼育形態を伴った表示を提供する。

ー この家畜飼育法表示でもって、消費者は家畜の飼育形態についての、中立的な情報を入手できる。これは勿論、その肉の価値を評価するラベルではない。

ー 最初の第一歩として豚肉が表示される。新鮮、冷蔵、冷凍、包装済みないし未包装でもって、食品小売業ー卸売り、サービスカウンター、専門店そしてオンライン取引きが対象となる。

ー これに続いてさらにスムーズに、他の家畜の種についても、レストラン並びに加工品まで拡大される。
ー 食料の表示について重要なことは、家畜の飼育形態の中で、いわゆる「生存中の一部段階」、つまり家畜の肥育期間中である。

ー 5 つの飼育形態を予定している。それは畜舎、畜舎＋場所、大気に触れることができるといった飼育条件である。
① 有機飼育：有機農業の規定に沿った畜舎条件を備えること。
② 畜舎：法的に最低限度の必要条件に沿って肥育される。
③ 畜舎＋スペース：従来の豚舎の最低 20%増しのスペース。法律的に最低限の基準である豚舎スペースに対して、豚房は様々な要素によって、構築されている。例えば、パーテーション（間仕切り）、様々な床面、異なる温度ー光線など。

④ 大気に触れる畜舎：豚は畜舎内で持続的に屋外気候に触れることが可能。これは畜舎の片側の窓がオープン可能なこと。豚は太陽、風そして雨のような環境条件に触れることができる。
⑤ 運動/屋外エリア：豚は 1 日中（ないし最低 8 時間/日）屋外エリアを利用できること。ないし、露地にいる時間内に固定した畜舎でないところにいること。

連邦閣議は、2022 年 10 月 12 日の会議において、家畜飼育法の表示法を決定した。今、連邦議会の立法手続きがスタートした。

刺激を与え良い飼育条件のための奨励：
家畜飼育法表示に関わる農業者は、財政的に奨励される。この家畜は特に飼育条件を提供し、畜舎はそれに応じて改造する。このように飼育条件の転換に際して、より多くの家畜保護並びに環境ー気候保護について、連邦食料・農業省は、農業者をより強く支援する。

家畜飼育法表示の義務化を決定した連邦閣議

3　連邦食料・農業省：農村と都市の同価値の生活関係は正当な課題である
―農村の生活条件向上のためにデジタル化を促進する―（2022・10・19）

連邦食料・農業大臣・エズデミールは、デジタル化の中で都市―農村―格差の解消を呼びかけた。エズデミールは、農村地域における早急なそして適切なデジタル接続のために語った。これは社会的結びつきの背景下で、決定的な奨励課題である。”我々はデジタル―同価値な生活関係が必要となる！”と、エズデミール大臣はベルリンで開催された「見本市・スマート カントリーコンベンション」に関連して述べた。

Wi-Fi の可能な地域の表示

このための基礎は、例えば急速なインターネットと、安定したモバイルへの接続は、農村地域のためにも決定的な将来課題である。連邦食料・農業省は、連邦政府のギガビット―戦略の実践に際して、積極的に参画する”と、エズデミール大臣は強調した。目的は例えば、行政手続きをデジタルで処理することである。その際、農村地域においてまさに、今ある大きな遅れを克服する。

”我々はなお、デジタル化に参画していかねばならない”と、大臣は述べた。

同時にエズデミール大臣は、現地の関係者からもたらされる、地域によって異なる構想を必要とすることを指摘した。自己啓発はここでは「魔法の呪文」である。なぜならば、農村地域は極めて多面的であり、異なっているからである。

そのため、農村の人々は何が機能し、そしてしないかを知っていることから、都市のマスタープランは必要でない。連邦政府は、モデル計画「スマート・農村・地域」でもって、実践と発展に際しての６つの農村地域のデジタル課題を、支援している。デジタル生態系システム（デジタル基盤）を通じて、問題解決をネットワーク化し、さらに他の郡にも活用される。

さらに 2 500 万 €（約 32 億 5 000 万円）を充当する。さらに 13 の郡は、デジタルプロジェクトのために、それぞれ 200 000€（約 2 600 万円）でもって、自らのデジタル戦略を支援する。連邦食料・農業省は、「農村・デジタル」でもって、農村地域におけるデジタルプロジェクトを支援している。実践に役立つ構想によって試行し、そして連邦全域に周知させる。連邦政府は、デジタル化の時代における「農村地域」でもって、14 の研究プロジェクトは、デジタル化のとの関連で現在の経済的、社会的そして地域的な変化を分析する。

連邦食料・農業省は、新しいモバイルフンク テクノロジー（ギガビットネット）の領域において、その可能性を用いて農村の公共サービスと参画者確保のための貢献を果たす。連邦政府は「将来経営と将来地域」でもって、将来を見据えた地域農業のための実験分野を強化し、奨励する。そして価値創造チェーンとその上一下流の分野も奨励される。「人工頭脳奨励」もまた、鍵の役割を演ずる。このためのプロジェクトを強化する。例えば、農村地域における革新（イノベーション）でもって取組む。連邦政府は、総額 4 400 万 €（約 57 億 2 000 万円）でもって、研究計画の領域において 36 の共同プロジェクトを支援する。

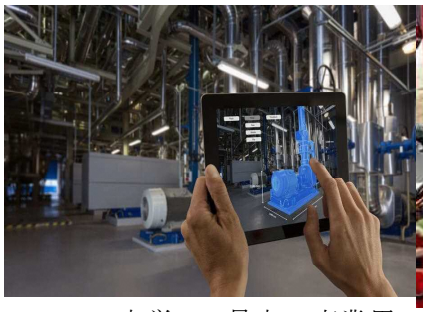
背　景：

見本市スマート・カントリー・コンベンションは、ベルリンで年１回開催される。3 日間デジタル ソリューション（デジタルで問題解決を図る）と公的分野を紹介する。連邦食料・農業省もここで独自のスタンドをもって紹介している（スタンド 603）。

農村地域にも５Ｇの普及を

パソコンで牛の健康管理

５Ｇ時代に備えで女性も



アーヘン大学 EU 最大の産業用
５Ｇ研究ネットワーク

りんご収穫ロボット

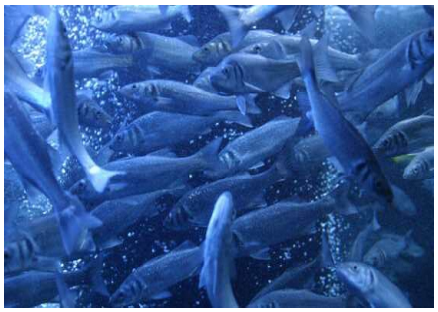
５Ｇで未来の鶏飼育
オスナブリュック応用
科学大学

2022 見本市・スマートカントリー
コンベンション

会場内の風景

4　EU ー漁業理事会：魚の現況が回復ー 2023 年のバルト海の保護政策継続

ードイツの 2023 年度のニシン等漁獲割当量は前年同様ー（2022・10・17）



連邦食料・農業省は、ドイツのバルト海の将来のために、モデル委員会を招集：

EU ー漁業担当大臣は、今日（10 月 17 日）にルクセンブルグにおいて、2023 年バルト海における加盟国毎の漁獲割当量を決定した。

ドイツについては、西部バルト海における魚の重要な現況が、さらに厳しくなっている。

このため、目的とする漁業が既に現行年度におけるように、広範囲に目的とする漁業の禁止を、継続しなければならない。

バルト海西部海域のニシンについて、少なくとも中期的な回復の視点にある。

その理由は、ドイツが昨年隣接するスカゲラーク/カッテガードにおいても、この現況からの漁獲削減について、劇的な効果を生じているからである。

タラの生息数は、気候危機の結果と環境の否定的な影響のもとで、被害を受けている。健全な現況規模に再び、到達できるかどうか、科学的評価に基づいても、現在まだ不明確である。

バルト海の漁獲量決定について、連邦食料・農業省政務官シルビア ベンダーが説明した：”バルト海漁業者について、彼らが希望しているような報告をしたいが、今は魚の現況回復の唯一のチャンスである。

われわれは今、バルト海漁業の生存基盤の将来展望を確保する。我々はこの困難な状況の中で、ドイツのバルト海沿岸に対する構造改革を、既に現行年に沿岸州と共同で、短期的な支援ー適応政策でサポートしている。我々はこの政策を 2023 年も継続したい。我々の目的は、全ての魚種の棲息状況を、将来においても再び良好な生物的ー状況とし、同時に再び漁獲できることである。

そのため、現在の状況の必要な改善と並んで、バルト海におけるドイツ漁業のために、持続可能な視点で広範な社会的コンセンサスを得ることである。

このため、連邦食料・農業省は漁業関係者と並んで、環境団体、科学―行政の代表者で構成する「将来モデル委員会」を招集する。バルト海西部海域のニシンの漁獲を禁止し、魚に対して受動的な漁具（刺し網、トラップ）を用いて漁をする、小規模沿岸漁業は例外とする方針は引き続き適用される。

漁獲禁止は、バルト海東部海域のタラ並びに、バルト海の広範な海域でのサケの漁獲禁止がさらに継続される。スプラット（ニシンの一種）については、科学的な勧告に応じて約 11%削減する。漁獲禁止は、東部海域のタラ並びにバルト海の広範な海域でのサケもまた、同じく禁止が続く。プレイス（カレイ科の一種）の漁獲量は、良好な生息状況の発展でもって 25%増加された。

カレイ種における目前に迫った新たな漁具の導入は、来年の実際の漁業活動において、タラの混獲を今一度明らかな減少が可能となる。

余暇の釣りについて、現行年に有効な 1 日当たりの最大捕獲量/釣り人（制限量）は、更新される。各釣り人は、バルト海に放流された 1 匹のタラと、1 匹のサケ/日のみ釣ることが出来る。バルト海漁業の将来モデル委員会が、最初に 2022 年 11 月 8 日に、キールで開催される。そして 2023 年中に勧告を提出する。

魚種ごとの漁獲量　2022年～2023年

海域・魚種	EU 総漁獲量 2022 年 t	ドイツ 漁獲割当量 2022 年 t	EU 総漁獲量 2023 年 t	ドイツ 漁獲割当量 2023 年 t	割　合 %
西バルト海　ニシン	788	435	788	435	+/-0
タ　ラ	489	104	489	104	+/-0
東部バルト海タ　ラ	595	54	595	54	+/-0
プレイス（ヒラメの一種）	9 050	720	11 313	900	+25
スプラット（ニシンの一種）	251 943	15 744	224 114	14 004	-11

バルト海沿岸の小規模漁業者は漁獲割当量の適用免除

ニシンの刺し網漁　　トラップ網漁

ニシン漁　　プレイス（ヒラメの一種）スプラット（ニシンの一種）燻製づくり

釣り人が釣り上げたバルト海のタラ

バルト海の魚を売る鮮魚店

５　連邦食料・農業省：食料の無駄に反対するプロジェクトを表彰

―食料の無駄が 1100 万ｔ、その内家庭から約 60%排出―（2020・10・19）

連邦食料・農業省エズデミール大臣は、今日（10 月 21 日）ベルリンで食料の無駄防止のために、優れたプロジェクトを表彰した。連邦食料・農業省はキャンペーン”ゴミ容器には良すぎる！”の分野において、革新的な構想とパイオニア精神をもった、創意に富む「食料の救世主」を讃えた。

表彰式で受賞者を讃える大臣

これは自然資源と気候の保護のために、価値多い貢献を果たしている。なぜならば、食料生産は、土壌、水、エネルギーまたは動力燃料を必要とし、そして環境汚染を防止する。1 ｋｇのりんごをスーパーの商品棚に置かれるまでに、820 リットルの水を必要とする。1 ｋｇのチーズ生産のために、5 000 リットル以上の水を必要とする。

エズデミール大臣：”我々はより多くの食料を皿にのせたい。しかし、これは逆の意味でもある。価値の高い食料は、ゴミ容器、桶またはタンクに捨てないことを、成し遂げなければならない。我々はまさに体験している複数の危機を考慮に入れて、この課題がこれまで以上に切迫している。資源の注意深い扱い方―特に我々の食料について、あらゆることに取組まねばならない。つまり、政治、経済並びに消費者が一体となって、食品の無駄を防止することである。

今日の表彰者は、食料を救い同時に気候または保護するために、日常において至るところで可能性があることを、我々の目の前に示してくれた。幾つかのプロジェクトと企業は、さらに取組んでいる。ホームレスに暖かい食事を提供または自らの売上金の一部を寄付している。あなた方の大きな取り組みとボランテイア的な参画に、お礼を申し上げたい！と大臣が述べた。”

今年の連邦賞には、全体で約 100 の応募があった。その中からかっての世界木々支援団体の会長であった、ヴェルトハンガー審査委員長のもとに、8 人の委員が、8 のプロジェクトを最終リスト者に選んだ。この審査は、以下のカテゴリー（分野）において実施した。

ー 農業と生産
ー 商取引
ー 美食
ー 社会と教育
ー デジタル化

2022年度”ゴミ容器には良すぎる！”の連邦賞受賞者ー
カテゴリー農業と生産

① クルマチブ有限会社：ヘルデンブロート（コンスタンツ・ドイツ南部ボーデン湖に面する人口 83 000 人の町。バーデンーヴュテンベルグ州）
ヘルデンブロートーチームは、大きな将来的可能性をもって、原料としてのパンの残りについて取組んできた。この会社はパン屋で残ったパンを買取り、パン顆粒に加工する。これを従来の添加物（例えば小麦粉）に代替えするといったような、様々な製品に投入できる。

カテゴリー商取引き

② 市場シュベルマードイツ（有限会社・エクアヌム）

オンラインショップで地域農民市場との出会い（ベルリン）

イニシアチブ　市場シュベルマードイツは、オンラインプロジェクトチームで、ベルリンからドイツ全域の地域生産者による、季節的な食料提供の世話をしている。顧客は事前に注文した品物を、毎週近所にあるシュベルマ店から受取れる。

カテゴリー美食

③ コミニュテイ キッチンワード（有限会社コミニュテイキッチンワード　ミュンヘン　バイエルン州）

この会社は、月曜日から金曜日まで並びに日曜日にゴミにされることなく救われた食料から、新鮮な食料を作っている。この目的は食料の廃棄を減らし、気候保護に貢献すること。社会的なテーマに関する意識を創出すること。そしてノイパーラッハ（ミュンヘン市の南東にある町）の貧困に喘ぐ人々への食事提供を可能にし、人々を結びつけることである。

カテゴリー社会と教育

④ 貴重な体験を学校で：学校で食料の価値を評価し生徒に教える。

フェルト教育イニシアチブ（フェルト・バイエルン州の北部都市）

このプラットホームは、経験豊かな教師が教育プランと一致した授業資料を、無料で生徒に自由に使用させている。6 歳から 12 歳の生徒に、食料の価値評価において、具体的に実行可能な知識を教えている。

カテゴリーデジタル化

⑤ フリートホール有限会社（ヴィッセル ヘーヴェーデ　ドイツ北部ブレーメンの近くの地名）

この会社は、ドイツ語圏地域の農業経営が、簡単にデジタルファームショップの設立を可能にした。これは組織された前売りで、価値多い食料を手配する。このことによって、収穫される野菜やと殺肉などの農産物が、ゴミ容器に入れることなく、無駄なく効率的に販売を可能にしている。

奨励賞の授与

① アクション ブリッジ　ホームレス支援協会（ゲルメリング　ミュンヘン市に隣接する人口約 40 000 人の町）
この協会のメンバーは、定期的に集まっている。そして「救出」された、または寄付された食料から、暖かい食事を調理する。これはボランテイアが、郡内の貧困で困っている人や、ホームレスの人々に配布している。

② レターマルクトーダイコン（ザールブリュッケン　ザールラント州の州都）レターマルクトは、ゴミ容器に入れられるような食料を救出し、安い価格で販売している。最初の年に約 10 万件の食料を、救い出すことができた。2021 年以来、ザルツブルグと並んでザールルイ（この州の人口 34 000 人の町）において 2 番目の店を設立した。

③ ライン食料救出協会　（シュタイネブルック ベルギーに隣接する町ノルトラインーヴェストファーレン州）
この協会は、ベルギーフードバンクの申し入れで、ボランテイアが食事の救出を行っている。特にレストラン等から、持ち帰りの出来ない食事を受取り、貧困者に提供している。ゴミ容器に入れられる前に、毎週約 40 000 リットルの食料を保管している。

審査委員会のメンバー

役　職	氏　　名	履歴及び現在の職
委員長	ヴェルベル　デイクマン	元ドイツ・世界飢餓支援の会会長
（女性）		
委　員	イングリット ハートゲス	ドイツホテルーレストラン協会ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ
（女性）		ﾃﾞｨﾚｸﾀｰ
委　員	チェルノ ジョバテイ	ジャーナリスト　テレビキャスター
	フリーデリケ クラッセン	コミニュケーションとクラウドベースの資金調達の専門家
	クリストファーミンホク	ドイツ食料工業連盟最高責任者
	クリステイアン　ラッハ	テレビ料理家　料理研究者
	ヴァレンテイン サーン	ドキュメンタリー映画政策者　作家
（女性）	イボンヌ　ウイリッシュ	テレビニュースキャスター　　作家

背　　景

ドイツにおいて毎年総合食料供給チェーンに沿って、約 1　100 万ｔの食料廃棄物が発生している。その内、650 万ｔが家庭から生じている。さらに果物、クルミの殻、コーヒーの粕又は骨のような、避けられない物が挙げられる。連邦食料・農業省は、食料廃棄物削減のための国内戦略でもって、家庭と並んで第一次産業、加工そして卸売ー小売業並びに家庭外ー料理出前（ケータリング）にも、強い焦点をあてている。

この目標は 2030 年までにドイツにおける食料廃棄物を、総合食料供給チェーンに沿って、半分に減らすことである。連邦食料・農業省はこれについて、産業界の参画について協議し（第一次生産から貿易まで）、そして意欲的にそして義務づけられた目的の合意に務める。ケータリング業界とは、目的に相応した合意がすでに終了している。さらなる対策は、現在検討中である。

2022 年度受賞者の写真

「ゴミ容器には良すぎる」のキャンペーンのポスター

家庭からの食品ゴミが 650 万ｔ。全体の 60%を

パンが大量に廃棄されている

レストランでの食べ残し

占めている

食品工場からの廃棄食品の寄付

消費者同志の余剰食品の交換

廃棄予定の食品を再調理し食事に
困っている人に提供

２０２２・１０・２４　訳
青森中央学院大学
地域マネジメント研究所
中川 一徹